

発行所 全日本建設交通一般労働組合  
栃木県本部 〒327-0315  
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1  
Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318  
http://www.kenkourou.or.jp/  
E-mail:DJQ06744@nifty.com

# STG 労建交 とちぎ

◎6月18日、麻生財務大臣が宇都宮市で開かれた自民党の決起集会に参加しました。自民候補高橋氏は麻生氏の派閥なのです。野党統一候補を「数合わせ」と批判しました。県民の良識を選挙で示そう！

## 欺詐年金の国！怒り示そう！ 参議院選挙

### 安倍政権 消費税増税強行

参議院選挙は7月21日投票が有力になってきました。

安倍政権は、社会保障の充実や景気対策など、国民の切実な願いよりも、米国のトランプ大統領の要求を優先させてきました。

景気が悪化しているにもかかわらず、10月の消費税増税を強行しようとしています。2%引き上げることによる増収は年間5兆6千億円と試算されています。今後5年間の米国防衛機購入予算は6兆2千億円です。

消費税は社会保障の充実に使われるはずでしたが、ところが、社会保障は悪化する一方です。

金融庁は、老後の生活資金として夫婦で二千万円が必要とする試算を発表しました。



「老後に2千万は必要だぜ」  
国家の本音を発表した  
大金持ちの麻生財務大臣

野党統一候補増税中止、改憲反対候補頑張れ

安倍政権に対抗するには野党の大同団結が必要です。

県内の5野党は立憲民主党新人加藤千穂氏

協定では市民団体「県民ネット」が「憲法9条改定の反対」「安民法制などの廃止」

「消費税率引き上げ中止」など13の政策を要望。統一候補は当選後政策実現のために最大限努力することを確認しました。



6月10日、宇都宮市内で野党統一候補と建交労も参加する市民団体「県民ネット」は共闘協定を結びました。写真手前左が組合員もお世話になった弁護士「県民ネット」の太田共同代表

つり氏との一騎打ちになります。

連合栃木も野党統一候補の加藤千穂氏を推薦しています。私たち

### 健康診断会に54人が参加 血圧200オーバー即要治療者も

6月9日、恒例となつた健康診断会を開催し過去最多の54人が参加しました。

昨年同様、佐野市「新吉水地区コミュニティセンター」で行いました。

毎年組合在籍中に病気で亡くなる組合員が増えています。

検査によって早期発見できていれば、治療できたケースも少なく

は原発政策など、連合とは考え方に違いがあります。しかしいま重要なのは、安倍政権の暴走を止めることです。選挙に行こう！

実際には、市民、労組共闘は進んでいません。この状況が、政権を利することになっていきます。選挙に行こう！

【今年の反省点】  
①待機中会場での雑談が多く、聴力検査などに支障が起きた。会場では静粛にするよう徹底する。  
②受付での混乱、問診票の誤記を防ぐため、30分単位の時間差受け付にしたほうがよい。  
③検査前の飲食制限などが徹底されていない。

ありませぬ。組合員の命と健康を守る取り組みとして重要な組合行事になっていきます。

今年初めて参加した木下清さん「会社をやめて独立してから20年以上健診を受けてません。個人だと平日仕事を休んでまで健診を受けるのは大変。組合の健診は日曜日の午前中と聞いて申し込みました。



「老後2千万円」は厚生年金受給者が前提で、国民年金だけの場合「4~5千万」がヒツヨーだそうです(「紳」)

# 現場から事故防止を考える 高齢プロドライバー



「どうしてあの信号が目に入らなかったのか。いまだに信じられない」

今から四年前、当時六〇代後半だった組合員の白井さん(仮名)は、ダンプで交差点を走行、赤信号で進入し右方向から来た乗用車と衝突、相手の運転者が亡くなりました。

普段から慎重な運転で知られていた白井さん。特に寝不足でも急いでいたわけでもありませんでした。毎年数件同様の事故が発生します。

若者でも、注意力、集中力が途切れることはあります。しかし、年齢にともなう体力の低下により、途切れる回数が増えることが指摘されています。

いまや高齢ドライバー問題は大きな社会問題です。高齢プロドライバー問題は、生活がかかっているだけにさらに深刻です。

## 65歳以上の組合員限定 適齢診断に取り組みます

貨物運送事業者(青年バー)の場合、65歳以上のドライバーは法令により3年に一度事故防止を目的とした「適齢診断」を受けることが義務になっています。白ナンバーで働く個人の場合、そのような機会がありません。

組合では、とちぎ交通安全センター(鹿沼市)で日曜日、個人の組合員も診断を受ける取り組みを始めます。組合員に受診を勧め、以上、まず組合職員が体験する必要があります。

5月末、宇都宮市の交通事故対策機構(NASVA)で受診しました。コンピュータに表示される指示にしたがってハンドル、ペダル操作など様々なテストを行います。



行い、診断結果をもとにカウンセリングを受けます。約一時間四十分かかりました。結果は百点満点中「予防安全運転度」は31点「思いやり運転度」は10点と予想外の低得点でした。

この結果は、運転のうまい下手とは直接関係ないと思います。長年の運転で身につけたクセを客観的に評価してもらおうのは重要だと感じました。

組合で受診料金4700円にたいする補助も検討していきます。第1回は7月28日(日)を予定しています。受診希望者は組合までご連絡ください。

## 【組合員紹介】石崎日出男さん(ダンプ支部) 東京五輪前から走り続ける鉄人 衰えぬ仕事への情熱を聞きました

数々の伝説を持つ石崎日出男さん(75歳)を紹介いたします。昭和37年大型の免許を取得し、以来57年以上走り続けています。総走行距離はざっくり850万キロ、月まで軽く100往復はしています。

奥さんも40代後半から10年以上ダンプに乗りました。ダンプを降りてからは自宅でジャズダンスを教え、いまでもトレーニングを続けています。奥さんも鉄人だったのです。



石崎さんが手にするのがダンプホイール脱着用パール。高い技術が求められます。しかし奥さん若い!

## テロ後混乱する母国スリランカ 自動車買取で支援したい

スリランカで4月に発生したテロは、日本人1名を含む258人が犠牲になる大惨事になってしまいました。

スリランカ出身組合員ナンディカさんに話を聞きました。「親戚が一名大やけどを負って入院しています。いま私が帰っても何もできないのでお金を送り支援しています。」

いま最も深刻なのは観光客が来なくなったこと、経済が回らなくなっていることです。銀行から融資を受けて商売をしていた人は返済ができず、失業者が増えています。



「車の買換、廃車のときはご連絡ください」 携帯090-6562-7818

◎政府は高齢運転者らの事故を防ぐため「安全運転支援機能」がある車に限定した免許制度を検討しています。大型も対象となれば、政府、メーカーに後付装置の無償装着等求めることとなりますが...